



訪問看護リハビリ  
はるかぜ豊田

# 風 歳時記 2018年 早春号

2018年3月1日発行 通巻7号

豊田市土橋町4-75 BULS12  
TEL:0565-41-8777 FAX:0565-41-8778  
www.yukikaze55.co.jp/harukaze/kango/

# 最期の瞬間まで 我が家で 生きる

## 本年度在宅看取り実績

\*ターミナルケア加算算定分

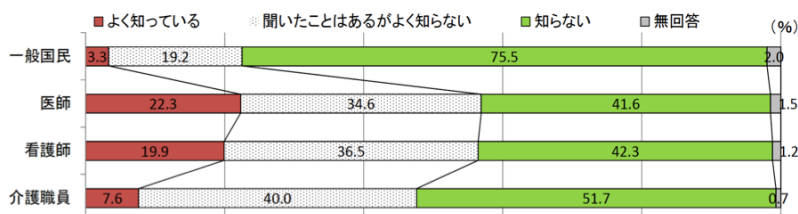
年齢	性別	介護度等	病名・既往	意向	死亡場所	家族	サービス提供 ～看取り
84	女性	介3 C2 IV	子宮膿腫 アルツハイマー型 認知症	長男： 在宅看取り希望	在宅	長男夫婦 同居	90日
93	男性	介2 B1 I	褥瘡	家族： 在宅看取り希望	在宅	家族 同居	169日
84	男性	介5 C1 1	脳梗塞後遺症 高血圧	長女： 在宅看取り希望	在宅	家族同居	52日
95	女性	介1 A1 IIa	認知症 高血圧	長女： 在宅看取り希望 <b>本人：最期までこの家で</b>	在宅	長女 同居	3日
91	女性	介5 B2 IIb	胃がん終末期 在宅緩和ケア	<b>本人：</b> <b>自宅に帰りたい</b> 次女夫婦： 当初は入院希望その後在宅に	在宅	次女夫婦 同居	21日
61	女性	介護4 C1	胃がん終末期	<b>本人：</b> <b>絶対家にいたい</b> 家族： 在宅希望	在宅	夫 同居	80日
83	男性	介4 B1 III B	アルツハイマー型 認知症	<b>本人：</b> <b>家にいたい</b> 奥さま： 在宅希望	在宅	妻同居	131日
81	女性	介5		家族： 在宅看取り希望	在宅	家族同居	5日

**第5回人生の最終段階  
における医療の普及・  
啓発の在り方に関する  
検討会資料より**  
(厚労省2/23発表資料)

### I-6 アドバンス・ケア・プランニング(ACP)について

平成29年度  
一般国民票

■ 人生の最終段階の医療・療養について、意思に沿った医療・療養を受けるために、ご家族等や医療介護関係者等とあらかじめ話し合い、また繰り返し話し合うこと(アドバンス・ケア・プランニング<ACP>)についての認知度



# 『笑顔に包まれた最期』

訪問看護リハビリはるかぜ豊田 所長 林

## 「もっと早く訪問看護を知っていたら良かった」

最期のご家族の言葉です。

「(看取りの)パンフレットがあったから、今この状態だって分かったし安心がありました」「亡くなったから悲しいはずなのになんか不思議な気持ちです」こう話されたのはMさんの娘さん夫婦です。呼吸停止の連絡を受け訪問すると娘さんが真っ先に「昨日入浴出来ました。私が足を洗ってあげたんです。」と嬉しそうに笑顔で話して下さったのを今でも鮮明に覚えています。

Mさんのスタートは緊急訪問で在宅酸素、吸痰、抗生剤の点滴が開始されました。ご家族は「今までやってあげられることは全てやってあげた。悔いはないです。」と話されており、状態が悪化したと同時に看取りのパンフレットを用いてこれから起こるであろう状態を説明させて頂きました。

ご家族としてはできるところまで経口摂取させてあげたいと希望され、その思いを少しでも叶えてあげたく、口腔ケア時に口内マッサージや舌の運動をはじめました。食事を口元まで運ぶと大きな口を開けるMさん。ご飯が好きだったんでしょうね。

また、以前より食事摂取時にむせ込みがあると情報もあり、食事時の姿勢や形態を娘さん・ヘルパーと情報共有し、その後は食事量が増えることはありませんでしたが、むせ込む回数も減り、亡くなる前日まで経口摂取をされました。



徐々に最期が近づき、娘さんより「最期にお風呂に入れてあげたい」と希望があり、亡くなる前日に1回だけでしたが入浴することができました。最期の死化粧はご家族様と一緒に口紅の色はもっと明るい方がいい、ファンキーでなければいいなど笑いに包まれる場面もありながら、「今にも目を開けて起きそうだね」ととても穏やかな時間でした。

このケースを通して、利用者様・ご家族様の思いをいかに汲み取ってあげられるかで満足死に繋がるのではないかと、また、今回のケースではご家族様も看取りに対して受け止めができていたが、そうでない場合にいかに受け止めができるよう支援していくかが訪問看護師の役割だと感じました。

今回の在宅看取りに協力して下さいました皆様から心から感謝致します。

### 私の読書感想文



管理者 林

### 「なんとめでたいご臨終」 小笠原 文雄著 小学館刊 ISBN-10: 4093965412

以前、豊田でも講演して下さった小笠原先生の著書です。住み慣れたご自宅には不思議な力があり、常識では考えられないようなエピソードが満載です。人生のめでたい最期を迎えたいと願う人や、大切な人にそんな最期を迎えてもらいたいと望む人、最期まで自分で介護が続けられるだろうかと不安な人に限らず、元気な方、そしてケアする側の方にも是非、読んで頂きたい1冊です。旅立つ人も見送る人も満足できる死に方ができたら、悲しいけどあたたかい死になるのではないのでしょうか？



# 意外と知られていない

## 訪問看護の基礎知識 ②

地域ケア科医長 小松裕和

### 実は、医療保険の訪問看護には利用制限がある!

#### 医療保険での制限

- 「1日1回(90分程度まで)、週3日まで、1箇所から、看護師1人で」が基本
- 特別な場合はこの制限が外れる  
特別訪問看護指示書  
厚生労働大臣が定める疾病など  
厚生労働大臣が定める状態など



今回ご紹介するのは、「実は、医療保険の訪問看護には利用制限がある!」ということです。訪問看護には医療保険と介護保険の2種類の利用形態があり、医療保険の訪問看護には利用制限があります。基本的な利用制限のルールは以下の通りです。

- 1日1回(90分程度)まで
  - 週3日まで
  - 1箇所の訪問看護ステーションから
  - 看護師は1人対応
- これは「保険」を使って訪問看護を利用するにあたり、基本的な利用制限を決めているものです。しかし、訪問看護は必要な方には必要なだけ利用できるようにできており、この基本的な利用制限が外れる次の3つの特別な場合を設定しています。

- (1) 主治医から「特別訪問看護指示書(第4回で紹介予定)」が発行された場合
- (2) 「厚生労働大臣が定める疾病等」に該当する場合
- (3) 「厚生労働大臣が定める状態等」に該当する場合

「厚生労働大臣が定める疾病等」には末期の悪性腫瘍が該当することは知っておきたいことです。

#### 厚生労働大臣が定める疾病等

- 末期の悪性腫瘍
- 多発性硬化症
- 重症筋無力症
- スモン
- 筋萎縮性側索硬化症
- 脊髄小脳変性症
- ハンチントン病
- 進行性筋ジストロフィー症
- パーキンソン病関連疾患  
(進行性核上性麻痺、大脳皮質基底核変性症、パーキンソン病(ホーエン・ヤールの重症度分類がステージ3以上であって生活機能障害度がⅡ度またはⅢ度のものに限る))
- 多系統萎縮症  
(線条体黒質変性症、オリブ橋小脳萎縮症及びシャイ・ドレーガー症候群)
- プリオン病
- 亜急性硬化性全脳炎
- ライソゾーム病
- 副腎白質ジストロフィー
- 脊髄性筋萎縮症
- 球脊髄性筋萎縮症
- 慢性炎症性脱髄性多発神経炎
- 後天性免疫不全症候群
- 頸髄損傷
- 人工呼吸器を使用している状態

## 厚生労働大臣が定める状態等

1. 以下の状態にある者  
在宅悪性腫瘍等患者指導管理、在宅気管切開患者指導管理  
気管カニューレ、留置カテーテルを使用している
2. 以下の指導管理を受けている状態にある者  
在宅自己腹膜灌流指導管理／在宅血液透析指導管理  
在宅酸素療法指導管理／在宅中心静脈栄養指導管理  
在宅成分栄養経管栄養法指導管理／在宅自己導尿指導管理  
在宅人工呼吸指導管理／在宅持続陽圧療法指導管理  
在宅自己疼痛管理指導管理／在宅肺高血圧患者指導管理
3. 人工肛門または人工膀胱を設置している状態にある者
4. 真皮を越える褥瘡の状態にある者
5. 在宅患者訪問点滴注射管理指導料を算定している者

また、「厚生労働大臣が定める状態等」には膀胱留置カテーテル、在宅酸素療法、人工肛門／人工膀胱、週3日以上点滴が該当することも合わせて知っておきたいことです。

実は、訪問看護は必要な方に利用できるようになっていきますので、「たしか訪問看護、こういう利用できるんじゃないかった？」とまずは医師や看護師やソーシャルワーカーなど、関係者で話をしてみることが大切です。

\* 佐久総合病院地域ケア科の許諾を得て、連載で転載させていただいております。

## 某月某日 はるかぜステーション日記

### 某月某日（晴れ） 工作の時間！

ステーションでちょいちょい見かける光景・・・利用者さんのケアの為に一生懸命スタッフが手作りのケア用品を作っています。今回のお題は利用者さんの背中への褥瘡予防のためのスペシャル除圧サポートグッズ。

材料：包帯、ガムテープ、吸水シート

製作時間：およそ30分

真剣そのものの表情で所長自ら作っています。ステーションの下手ウマ巨匠として名を馳せる所長。右手を描いたら左手に見えたり、象を描かせたら漢をたらしめた犬にしか見えなかったりと、絵画の才能は無い様ですが、どうしてどうして工作についてなかなか高いスキルを持っている様子。（所長の名譽の為に・・・書道は有段者です）



あれよあれよという間に特製除圧サポートグッズの完成です！完成後のテストも入念。利用者さんのお体の様子を思い出しながら、当たる位置は大丈夫か、除圧の具合はどうかとこれまたプロの視点でスタッフ同士チェックしています。

お薬の飲み忘れ防止のための「お薬カレンダー」や認知症の利用者さんでも曜日や時間に沿って間違えないように服薬していただけるように「曜日毎お薬ボックス」。100均製品とペットボトルを流用加工したシャンプー用ボトルも製作後は日々大活躍中。

利用者さんの負担無く如何に快適に在宅で過ごしていただけるか、今日もはるかぜののっぼさんが奮闘しています。